

令和6年 10 月 31 日(木)

太 田 市 議 会

議長 高田 靖 様

公明党代表 星野 一広

第86回 全国都市問題会議 参加報告書

1、期 間

令和6年 10 月17日(木)～10 月18日(金)までの 2 日間

2、会場及びテーマ

会 場 : 兵庫県姫路市 アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)

テーマ : 健康づくりとまちづくり ～市民の一生に寄り添う都市政策～

3、参加者

星野一広、前田純也、谷之木勇作

4、会議日程

第 1 日 (10 月 17 日)

開会式

開会挨拶	全国市長会会長	広島県広島市長 松井 一實
開催市市長挨拶		兵庫県姫路市長 清元 秀泰
来賓祝辞	兵庫県知事代行	兵庫県副知事 服部 洋平

基調講演

生命を捉えなおす ― 動的平衡の視点から ―

生物学者、青山学院大学教授 福岡 真一

主報告

市民の「LIFE」(命・くらし・一生)を守り支える
姫路の健康づくりとまちづくり

兵庫県姫路市長 清元 秀泰

一般報告

生き物から学ぶ健康なまちづくり

筑波大学システム情報系教授 谷口 守

一般報告 IT/AIの健康分野への適用例
～姫路市の健康データ分析と歌唱による誤嚥予備～
兵庫県立大学副学長 畑 豊

以上で第 2 日の日程を終了

5、所感等

第 86 回全国都市問題会議は、10 月 17 日、18 日の二日間にわたり、姫路市のアクリエひめじを会場に、全国各地から首長や議員等約1,700 名が集い開催された。

今回の都市問題会議は、「健康づくりとまちづくり ～一生に寄り添う都市政策～」をテーマとして、初日の基調講演や主報告、一般報告に加え、2日目にはパネルディスカッションが行われ、それぞれの分野で活躍されている方々ら貴重な話を伺うことができた。

青山学院大学の福岡真一教授の基調講演では、「動的平衡」(変化しながらも均衡を保つ)の視点からみた生命観について、自身の体が時間の関数として絶えず変化しながらも、柔軟に適応していることを解説し、まちづくりにも、この動的平衡の考え方が生かされるのではないかと、その考え方を提起した。

主報告では、兵庫県姫路市の、清元秀泰市長が、人生 100 年時代の到来へ、健康づくりの重要性などについて、医師としての経験を生かし、ユーモアを交えながら、健康づくりに資する姫路市の取り組みを紹介、特に「歩くこと」が大切であることから、「姫路市ウォーカブル推進計画」を策定し、「みんなが歩きたくなるようなまちなか」の形成を目指し、例えば姫路駅から姫路城までの導線を、冬にはライトアップするなどの工夫をし「歩きたい」と思えるような場の提供をすることで、生活習慣病や引きこもりの予防、またフレイル予防にも効果がある施策として取り組んでいることを紹介した。

一般報告では、各分野での研究の成果などについて、細部に渡る報告があり、公共交通と歩くことをうまく組み合わせて活用することで、まちも健康になり、人も健康になること、都市そのものを健康にするためのプログラムの紹介、更には IT/AI を健康分野に適用させることの紹介など、今回のテーマである「健康づくりとまちづくり」に沿った形での報告にヒントをもらえたような気がする。

二日目のパネルディールセッションでは、中央大学の宮本太郎教授をコーディネーターに、4 名のパネリストがそれぞれの分野での成果等を発表した。

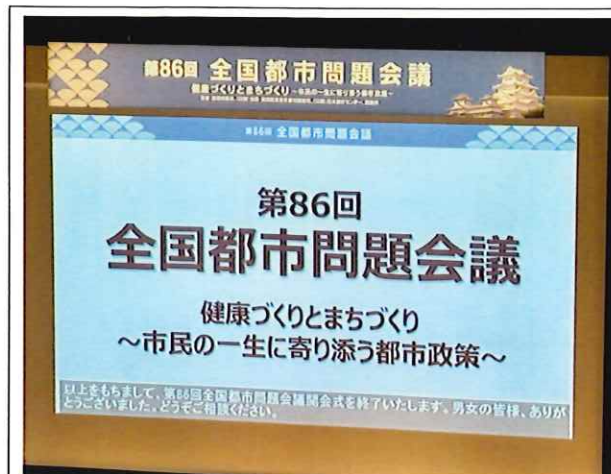
中でも大阪府泉大津市の南出賢一市長の話は、特にコロナワクチン接種について、副反応者数などのデータを活用しながらの話に、違和感を覚える箇所が多く都市問題会議の場に登壇するのに本当にふさわしいのか疑問が残った。

今回の都市問題会議は、全国でも課題となっている健康寿命をいかに伸ばせるか、そして、そのために自治体としてどのように取り組むべきか、とても参考になる内容が多かったと感じている。

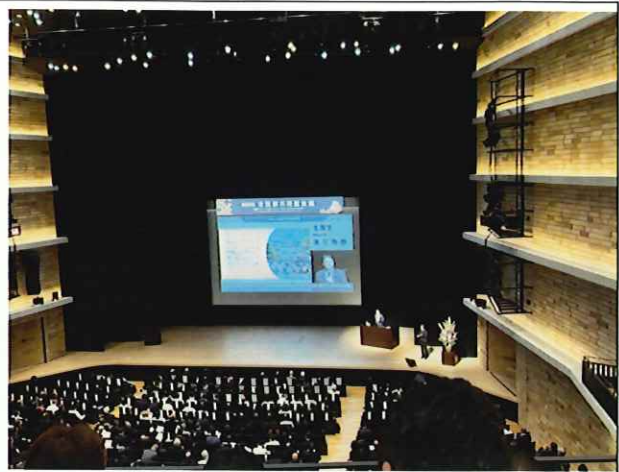
歩くことの大切さについては理解をしている方が多いと思うが、本市はどうしても「車社会」であることから、どのような方法で、歩く楽しさを感じられる場の提供ができるのか、真剣に考えるべきであると感じた。

この 2 日間で、学んだことを本市において、どのように生かしていけるのか、会派でも協議するとともに、市民の皆様の健康づくりに役立てられるよう進めてまいりたい。

第 86 回 全国都市問題会議会場等の写真



第 86 回 全国都市問題会議テーマ



会場の雰囲気



今回の都市問題会議の会場となった、姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」の緞帳。

兵庫県姫路市出身のデザイナーである、高田賢三氏がデザインを手掛けた「SUNRISE」で、横 22m 縦 12m の壮大な作品。



国宝 姫路城(白鷺城)